



海外旅行を楽しむために 出発前の感染症対策を

令和元年 7月 17日
富山県感染症情報センター
(0766-56-5431 直通)
(0766-56-8142 細菌部)
(0766-56-8143 ウイルス部)

感染症発生動向速報

(令和元年 第28週分・7月8日～7月14日)

《インフォメーション》

●海外で注意すべき感染症

この夏、長期休暇を利用して海外に行かれる方も多いと思われま。楽しい思い出にするためにも、海外で感染症にかからないよう気をつけることが重要です。出発前に感染症の予防方法を今一度ご確認ください。

注意すべき感染症は渡航先によって異なります。最も感染の可能性が高いのは、消化器系の感染症（A型肝炎、E型肝炎、コレラ、赤痢、腸チフスなど）です。発展途上国など公衆衛生の整備が不十分な地域へ行く際は注意が必要です。十分に加熱処理がされていない物（生水、氷、サラダ、生鮮魚介類など）の飲食は避けましょう。

海外では、麻しんや風しんが流行している地域があります。流行地域で麻しんや風しんに罹患し、国内に持ち込まれるケースが増えています。国内にウイルスを持ち込まないためには、渡航前にワクチンを接種しておくことが重要となります。

東南アジア、南米、アフリカなどの熱帯・亜熱帯地域では、蚊が媒介する感染症（デング熱、マラリア、チクングニア熱、ジカウイルス感染症、黄熱など）が流行しています。これらの感染症は、現在日本国内では流行していませんが、海外で感染し、帰国後に発症する症例が報告されています（表参照）。流行地へ旅行する際は、**長袖・長ズボン**

を着用し、虫除けスプレーを利用するなど、蚊に刺されないように注意しましょう。

また、動物を介して人に重篤な症状を起こす、動物由来感染症（中東呼吸器症候群(MERS)、狂犬病、鳥インフルエンザなど）もあります。むやみに動物に触れるのは止めましょう。

帰国後に症状が出た際は、医療機関を受診する前に、あらかじめ電話で症状と渡航歴を伝え、医療機関の指示に従ってください。

《全数報告の感染症》

二類感染症 結核 6件（①第25週診断分：80歳代、女性 ②第27週診断分：40歳代、男性 ③40歳代、男性 ④60歳代、女性 ⑤70歳代、男性 ⑥70歳代、女性）

四類感染症 レジオネラ症 2件（①②共に50歳代、男性、肺炎型）

五類感染症 アメーバ赤痢 2件（①40歳代 ②60歳代 ①②共に 男性、腸管アメーバ症）

劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1件（70歳代、女性、A群、B群）

後天性免疫不全症候群 1件（第26週診断分：30歳代、男性、無症候）

侵襲性インフルエンザ菌感染症 1件（第27週診断分：100歳代、女性）

百日咳 21件（①～⑤10歳未満、男性 ⑥～⑩10歳未満、女性 ⑪～⑭10歳代、男性 ⑮～⑲10歳代、女性 ⑳30歳代、女性 ㉑40歳代、女性）

《定点報告の感染症》

今週の県内上位6疾患		定点あたりの数	
順位	疾病名	今週（増減）	先週
1位	手足口病	21.59（↑）	13.28
2位	感染性胃腸炎	4.69（↓）	6.90
3位	ヘルパンギーナ	3.76（↑）	3.03
4位	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.38（↑）	1.14
5位	伝染性紅斑	1.28（↓）	1.79
6位	咽頭結膜熱	0.66（↑）	0.48

この内容は以下のホームページでさらに詳しくご覧いただけます
アドレス <http://www.pref.toyama.jp/branches/1279/kansen/>

蚊が媒介する主な感染症の報告状況(全国)

	診断年					
	H26	27	28	29	30	R1※
デング熱	340	292	338	245	201	161
マラリア	60	41	54	61	23	23
チクングニア熱	16	17	13	5	4	7
ジカウイルス感染症	H28年から報告対象		12	5	0	0

※第27週(7/1～7/7)現在

○感染症発生動向調査報告状況（令和元年第28週 令和元年7月8日～令和元年7月14日）

分類	疾患	今週報告分（第28週）					累積報告数						
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計
二類感染症	結核		1	1	1	1	4	11	8	25	23	31	98
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症								1	4		5	10
四類感染症	E型肝炎							2		1			3
	A型肝炎							1					1
	つつが虫病							1					1
	レジオネラ症					2	2	2		9	6	12	29
五類感染症	アメーバ赤痢					2	2					3	3
	ウイルス性肝炎									1			1
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症									3	1		4
	急性脳炎											2	2
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症					1	1			2	3	4	9
	後天性免疫不全症候群											4	4
	侵襲性インフルエンザ菌感染症									1	2	2	5
	侵襲性肺炎球菌感染症									8	8	8	24
	水痘（入院例）							1				5	6
	梅毒									2	1	11	14
	播種性クリプトコックス症											1	1
	百日咳			7	8	6	21	1	4	22	43	73	143
	風しん								1			3	4
	麻疹									1	2		3
定点疾病 (下段は定点当たりの患者数を示す)	インフルエンザ			12		5	17	1,426	912	3,136	1,691	3,678	10,843
				0.92			0.31	0.35					
	RSウイルス感染症				1	5	6	13	25	53	13	85	189
					0.25	0.50	0.21						
	咽頭結膜熱	8		2	1	8	19	128	20	214	47	171	580
		2.00		0.25	0.25	0.80	0.66						
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	3	2	6	9	20	40	99	106	499	218	893	1,815
		0.75	0.67	0.75	2.25	2.00	1.38						
	感染性胃腸炎	23	13	30	3	67	136	866	693	1,071	444	2,683	5,757
		5.75	4.33	3.75	0.75	6.70	4.69						
	水痘	2				4	6	18	13	42	11	225	309
		0.50				0.40	0.21						
	手足口病	13	31	268	54	260	626	35	68	453	119	645	1,320
		3.25	10.33	33.50	13.50	26.00	21.59						
	伝染性紅斑		2	4	4	27	37	90	39	378	91	387	985
			0.67	0.50	1.00	2.70	1.28						
	突発性発しん	1		3	2	6	12	22	26	128	28	115	319
		0.25		0.38	0.50	0.60	0.41						
	ヘルパンギーナ		17	45	13	34	109	73	28	80	20	95	296
			5.67	5.63	3.25	3.40	3.76						
流行性耳下腺炎							1	7	8	1	17	34	
急性出血性結膜炎										12		12	
流行性角結膜炎							1	9	24	28	7	69	
細菌性髄膜炎											4	4	
無菌性髄膜炎					1	1	2				1	3	
					1.00	0.20							
マイコプラズマ肺炎								2	2			4	
感染性胃腸炎（ロタウイルス）							1		8	7	2	18	
インフルエンザによる入院患者（*）							42	42	52	98	100	334	

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

*インフルエンザによる入院患者累計報告数は、平成30年第36週(9月3日)～の集計です。

○感染症発生動向調査報告状況（令和元年6月分）

		6月報告分					累積報告数						
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計
五類感染症 (定点把握)	性器クラミジア感染症		1	2		5	8	2	2	9		41	54
			1.00	0.67		1.25	0.80						
	性器ヘルペスウイルス感染症		2	1		2	5		5	8	4	17	34
			2.00	0.33		0.50	0.50						
月報対象疾患 (下段は定点当たりの患者数を示す)	尖圭コンジローマ				1	2	3			4	2	11	17
					1.00	0.50	0.30						
	淋菌感染症					1	1	4		2		11	17
						0.25	0.10						
	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症			4	3	3	10	4	8	15	12	27	66
				4.00	3.00	3.00	2.00						
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症					1	1	2		10	5	4	21
						1.00	0.20						

本月報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。